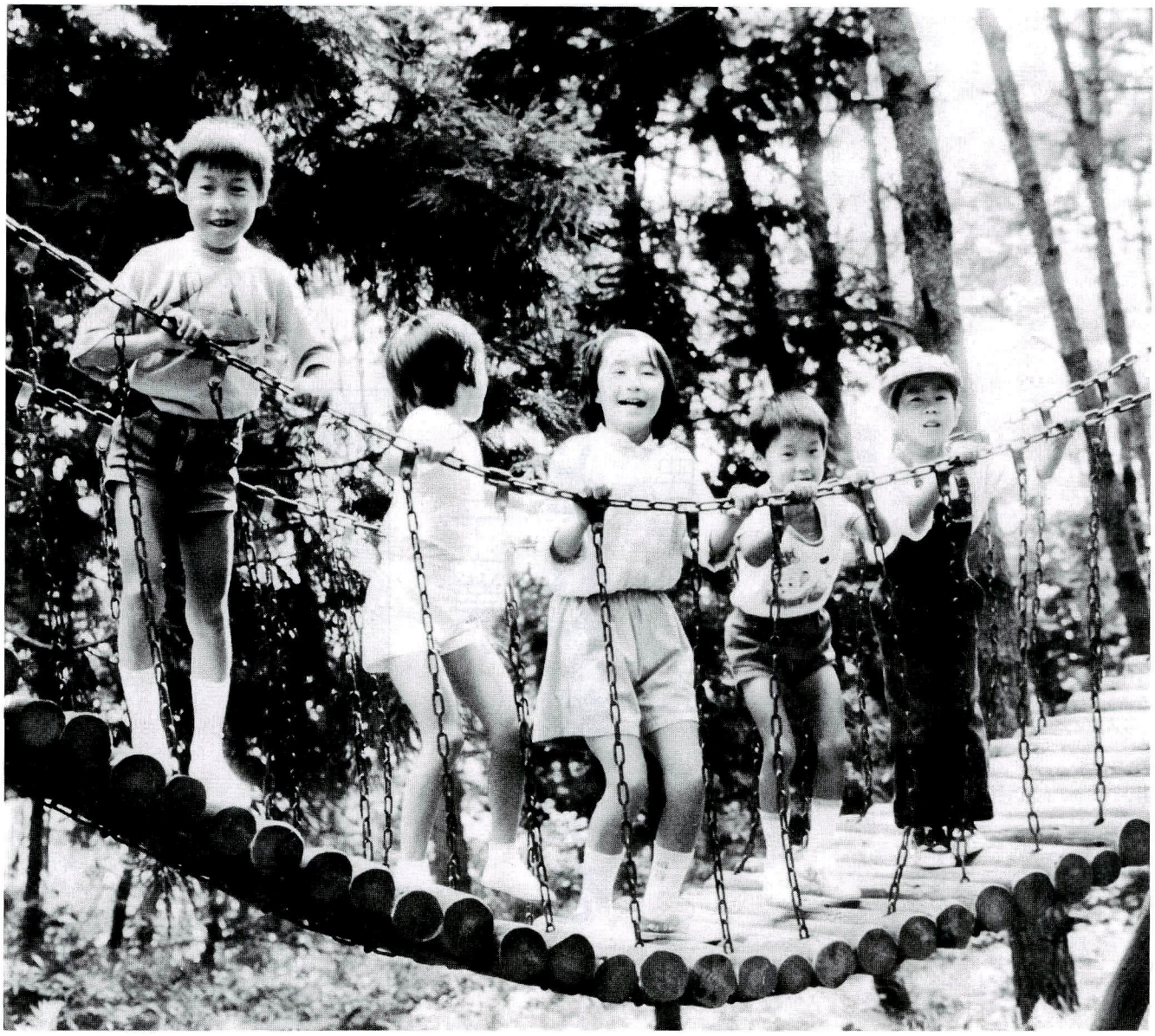
市報
たかはぎ

11月号　'85 No.309　編集・発行／高萩市役所市長公室　☎(0293)23－2111

高萩市市民憲章 昭和49年11月1日制定

1. 自然をたいせつにし、美しいまちをつくりましょう
1. きまりを守り、明るいまちをつくりましょう
1. 礼儀を正しくし、うるおいのあるまちをつくりましょう
1. 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう
1. 思いやりのある、あたたかいまちをつくりましょう



▲森林公園のフィールドアスレチックで遊ぶ子どもたち

自然は遊びの宝庫

自然とのふれあいのなかで
子どもたちは、たくさんの
遊びに出会います

自然は遊びの宝庫
森林公園には、いつも
元気な声が響いています

森林浴やフィールド
アスレチックに
今までに経験したことのない
新しい遊びの発見や創造

子どもたちは、
友だちと一緒になって
小さな胸をはずませながら
林のなかを走ります

ーテレフォンサービス「市政案内」は　23-1151・1152ですー

高萩市新総合計画を策定するために、今年の三月二日から三月二十日に実施した「市民意識調査」の結果がまとまりましたので紹介します。

この調査は、市の将来に関する市民のみなさんの意向・要望などを計画の中に反映させていくために実施したものです。

〝自然と農林業と工業〟の調和のとれた都市を

～市民意識調査結果まとまる～

調査の内容

○アンケートに答えてくれた人の性別、年齢、既婚・未婚の別、市内居住歴、職業、家族人員、同居家族の内訳、居住地区

○日常の行動範囲

通勤・買物・レジャーの行き先と交通手段

○住みよさや将来の姿について

高萩市の魅力・満足度
高萩市の住みよさ
高萩市の将来像
まちづくりの重点施策・重点事業
人口増加への考え方と将来の人口規模
常磐自動車道への期待と不安
山間地域振興の方策
温泉の活用方法
主要施設の利用度と満足度

○身のまわりのことや生活について

生活環境の満足度
充実すべき環境
整備を望む施設
老後の生活
高齢化社会への対応策
地域組織への加入状況
地域活動への参加意識
地域活動のありかた

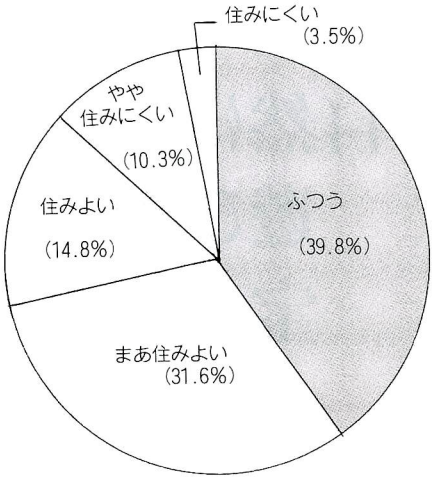
○市政、高萩市とのかかわりについて

市民意識の取り入れ度合
高萩市への定住意志

○自由意見

市の将来についての意見やアイデア

※以上、二十二問について調査が行われ、貴重な資料として役立てられています。なお、今回は、この中から抜すいして紹介します。



“高萩市”は住みよいまちですか

調査の方法は…このようにして

調査期間	昭和60年3月2日～20日	
調査対象	市内に居住する20歳以上の男女2,000人を選挙人名簿から無作為に抽出	
回収数	1,523人	
	有効回収率	76.2%
〈アンケートに答えてくれた人〉		
性別		
	男性	741人(48.7%)
	女性	765人(50.2%)
	無回答	17人(1.1%)
年齢		
	20代	199人(13.1%)
	30代	359人(23.6%)
	40代	336人(22.1%)
	50代	262人(17.2%)
	60代	215人(14.1%)
	70代	141人(9.3%)
	無回答	11人(0.6%)
職業		
	専門職	70人(4.6%)
	管理職	46人(3.0%)
	会社員など	165人(10.8%)
	工場従業員など	380人(25.0%)
	自営業者など	156人(10.8%)
	農林業者	106人(7.0%)
	主婦	385人(25.3%)
	学生	15人(1.0%)
	その他	165人(10.8%)
	無回答	35人(2.3%)
居住地区		
	駅東側	307人(20.2%)
	駅西側	168人(11.0%)
	安良川	169人(11.1%)
	山手	482人(31.6%)
	松岡	298人(19.6%)
	高岡	86人(5.6%)
	無回答	13人(0.9%)

河本国土庁長官が手綱工業団地を視察

十月二十三日(水)　河本嘉久蔵国土庁長官が産炭地域の整備状況を視察するため高萩市を訪れました。

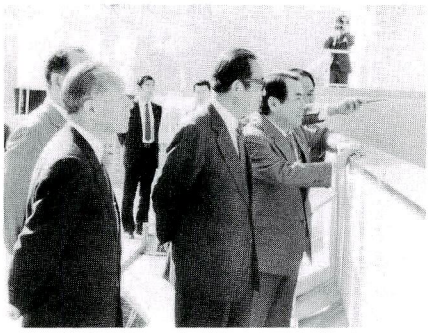
河本国土庁長官は、高萩駅十二時二分着の特急ひたち十三号で到着、大高省三市長をはじめ地域振興整備公団の関係者が出迎え、大心苑に向かいました。

昼食後、大高市長から市の現状や概況についての説明が行われ、長官も市内を一望できる大心苑の屋上にあがって市街地を視察、快晴の秋空の中で「自然に恵まれ、海と山に囲まれたすばらしい環境、常磐自動車道などの道路整備が進めば、自然を生かした開発が可能」と感想を述べていました。

このあと、長官は六十二年度末に供用開始予定の高萩インターチェンジ進入地に造成されている手綱工業団地を視察、大高市長や地域振興整備公団の関係者から団地概要の説明を受けました。

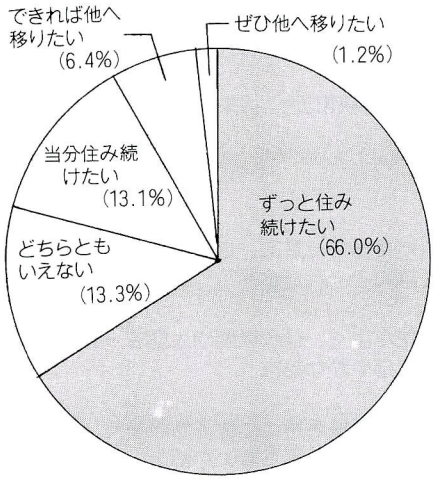
手綱工業団地では、すでに九社が操業中、六社の進出が決まっていますが、建設中の企業について質問をされるなど、熱心な視察となりました。

なお、現職の大臣の来市は、昨年八月の水野建設大臣以来のことです。



▲市内の説明をうける国土庁長官

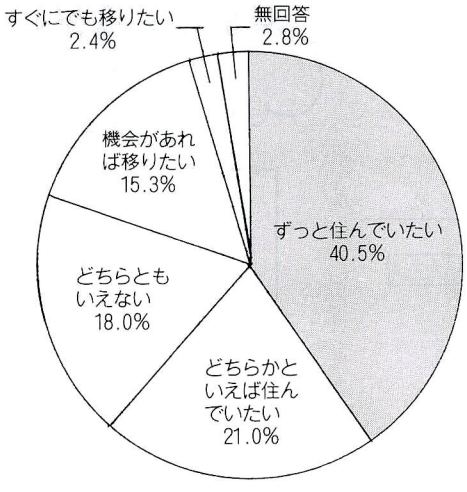
これからも住み続けたいですか　～定住意識～



〈参考〉

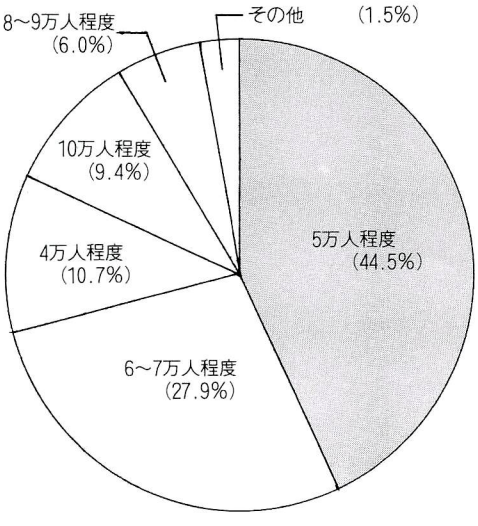
昭和五十八年七月に実施した「市街地整備についてのアンケート調査」　左円グラフ

あなたは今の場所にずっと住んでいたいと思いますか？



将来の人口規模は

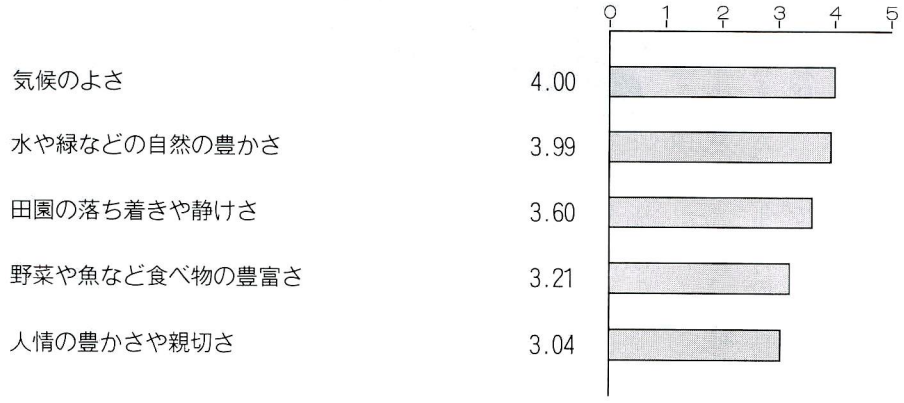
※昭和七十五年度の望ましい人口規模の設問では、五万人程度とする回答が最も多く、四十四・五%を占めています。



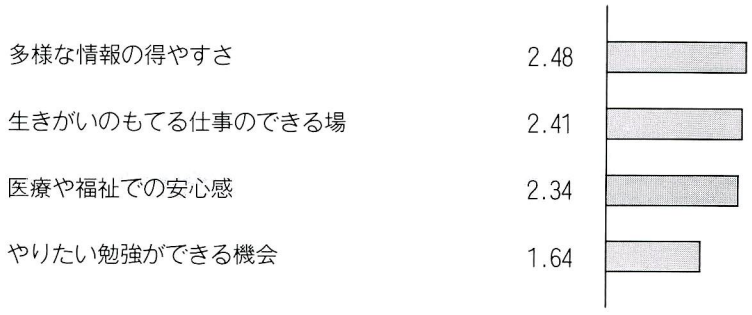
高萩市の魅力・満足度について

（問）現在の高萩市全体を考えた場合、あなたは、次の各項目についてどの程度、魅力・満足を感じますか。

満足＝5点、まあ満足＝4点、普通＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点

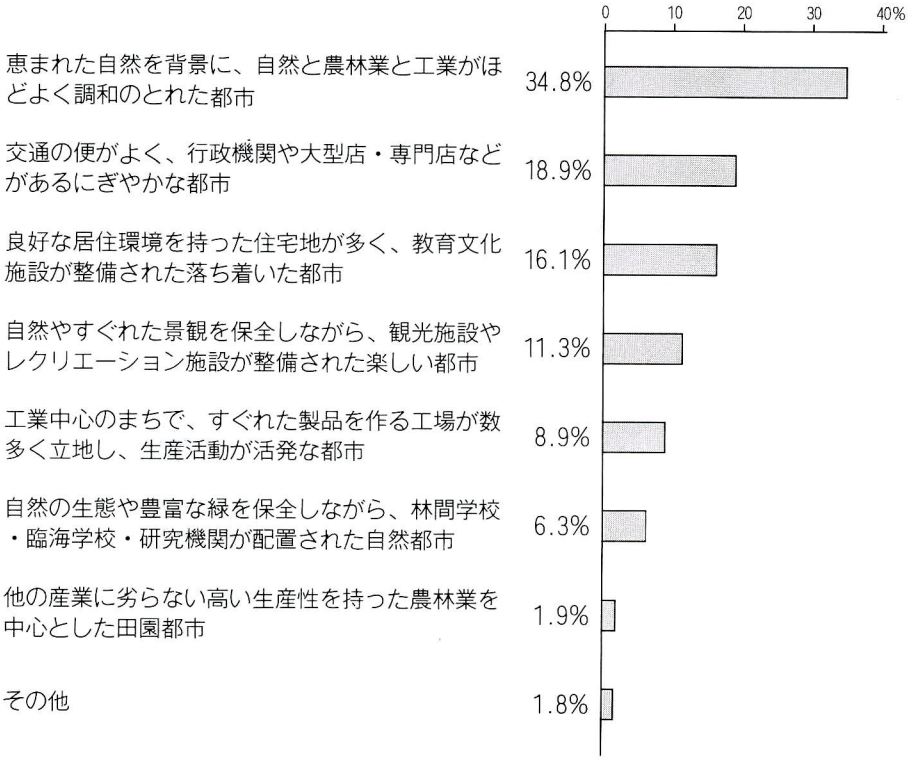


※全体として田園的魅力要素が高く評価されています。
逆に魅力評価が低い項目は次のとおりです。



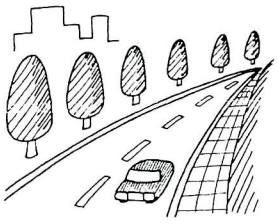
将来どんな都市を望みますか

(問) あなたは，高萩市が，将来どんな都市になることを望みますか，次の中から選んでください。

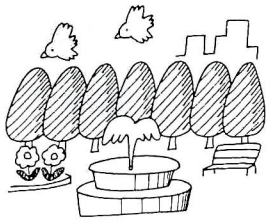


※最も回答が多かったのは、「自然と農林業と工業の調和のとれた都市」で、回答者の三人に一人が、各産業のバランスよく発展する都市の姿を理想像として描いています。また、にぎやかな都市、教育文化施設が整備された落ち着いた都市も望まれています。

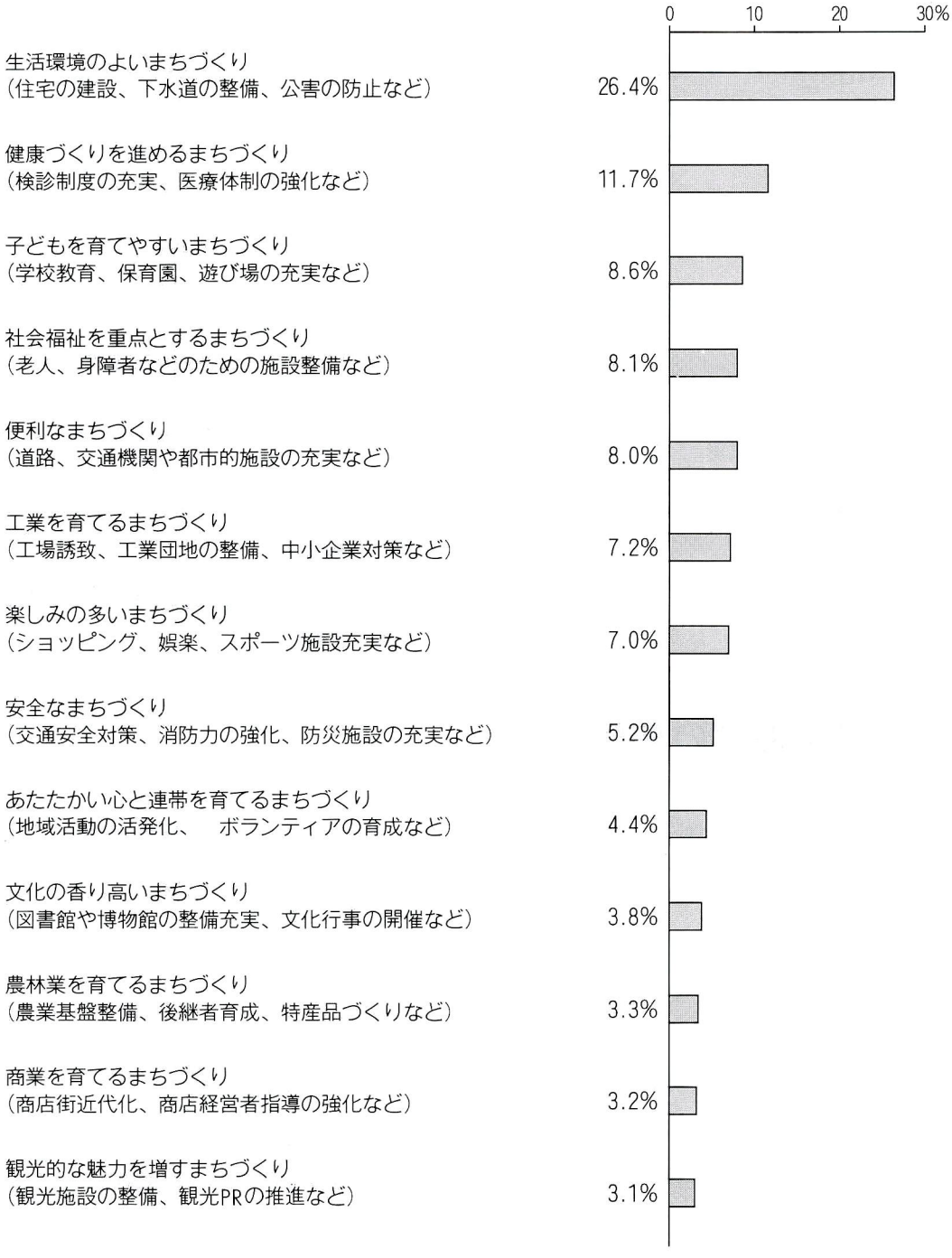
年齢別でみると「調和のとれた都市」は農林業者で、特に比率が高く、一方「にぎやかな都市」は、自営業者、主婦、学生で、また、「工業中心の活発な都市」は工場従業員、自営業者、管理職で比較的比率が高くなっています。



希望するまちづくり



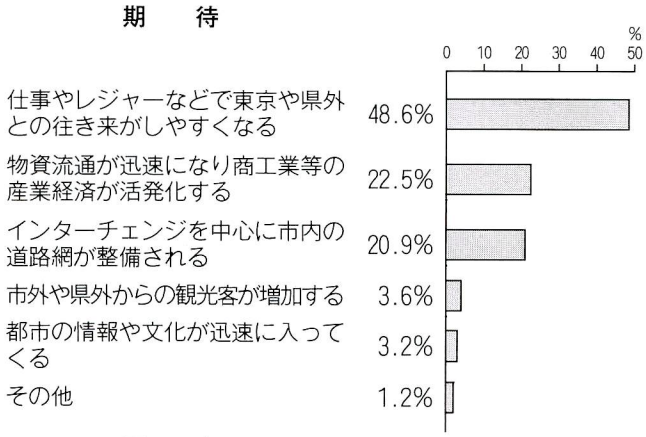
（問） 今後，高萩市のまちづくりを進めていく上で，あなたは，特にどんなことに重点を置き，どんなまちづくりをめざすべきだと思いますか。



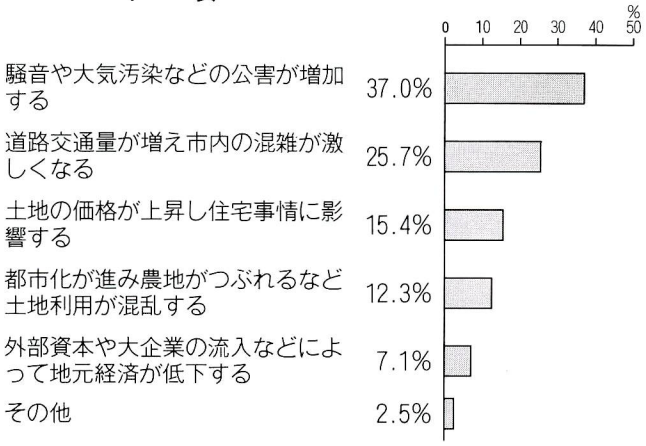
※最も多くの回答を集めたのは、「生活環境のよいまちづくり」で二十六・四％、回答者の四人に一人が回答しています。年齢別では、若年層で「子どもを育てやすいまちづくり」「楽しみの多いまちづくり」の比率が比較的高く、逆に「健康づくりを進めるまちづくり」「社会福祉を重点とするまちづくり」は高齢者ほどその比率が高くなっています。職業別では、「農林業を育てるまちづくり」が農林業者に多く、「工業を育てるまちづくり」「商業を育てるまちづくり」が自営業者に多いほか、「子どもを育てやすいまちづくり」が主婦と専門職で比率が高い。「楽しみの多いまちづくり」が学生と専門職で、「便利なまちづくり」が管理職、会社員、農林業者などで、それぞれ高い割合を示していることが特徴的です。

常磐自動車道の供用開始に伴う期待と不安について

期　待

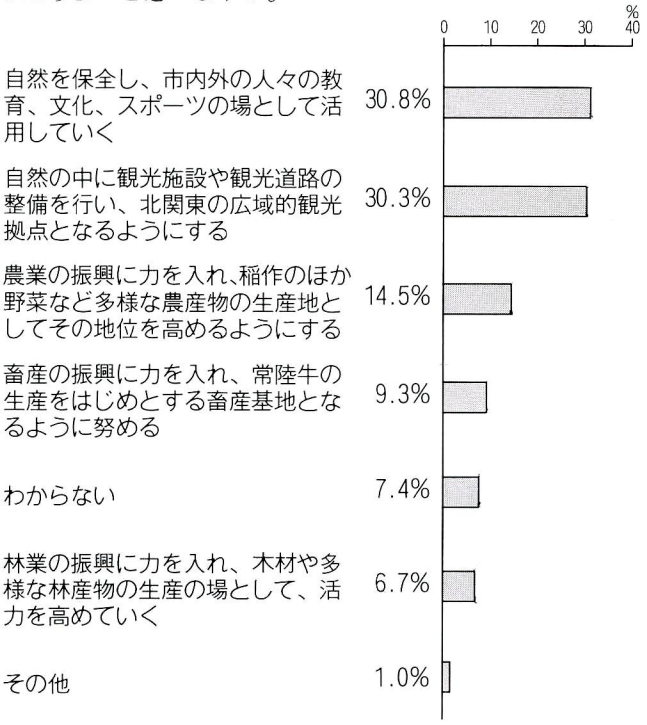


不　安



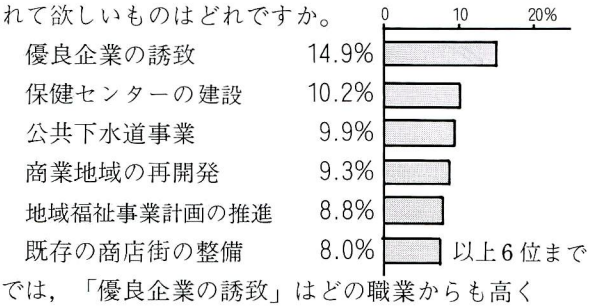
山間地域の振興

（問）高萩市内には，広大な山間地域があります。豊富な自然を生かして，この地域を活性化させていくためには，どうしたらよいと思いますか。



これから力を入れて欲しい施策・事業

（問）現在，市が推進または計画している施策，事業の中で最も力を入れて欲しいものはどれですか。

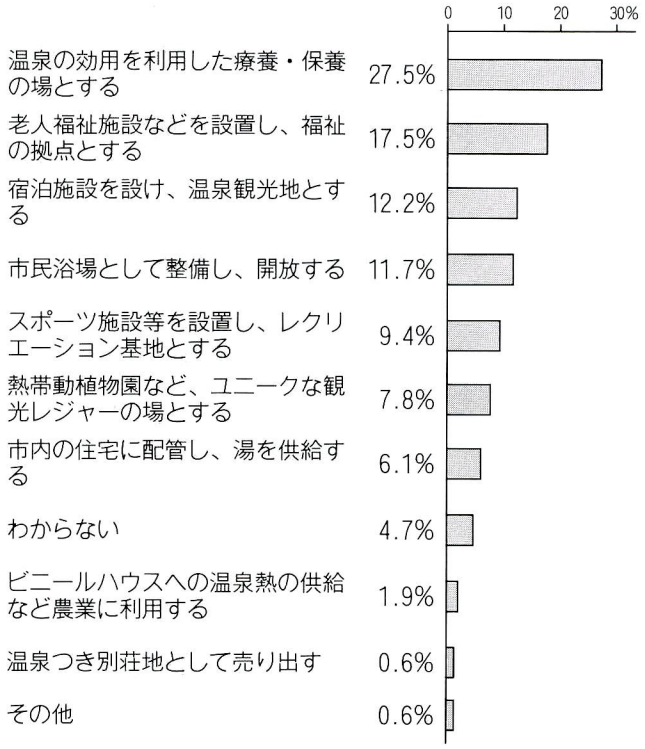


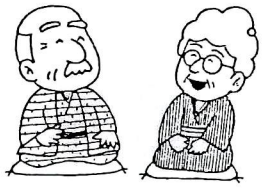
※職業別では，「優良企業の誘致」はどの職業からも高く支持されている。自営業者では，「商業地域の再開発」や「既存の商店街の整備」への支持が高い。主婦や工場従業員等では「保健センターの建設」が比較的高い支持を集めている。専門職では，「公共下水道事業」が第1位に支持されている。

地区別では，駅西側，安良川地区では「商業地域の再開発」や「既存の商店街の整備」への支持が高く，駅東側地区では，「離岸堤の整備促進」が，高岡地区では，「県道高萩大子線の整備」や農業基盤整備を中心とした農業関係の施策事業が強く望まれている。

温泉資源の活用

（問）高萩市内に温泉が2か所あり，市ではこれを何らかの形で有効に活用していきたいと考えています。あなたは，この温泉をどのように活用したらよいとお考えですか。

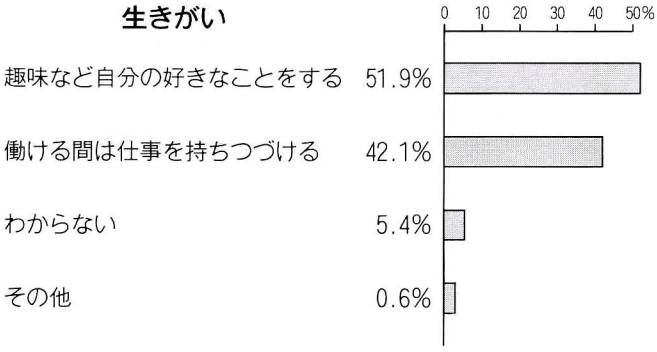




老後の生活

（問）今後，高齢化社会をむかえるにあたって，あなたご自身の老後の生活についてどうお考えになりますか。老後の生きがい，生計，居住形式の３つの視点から，あなたのお考えに近いものを選んでください。

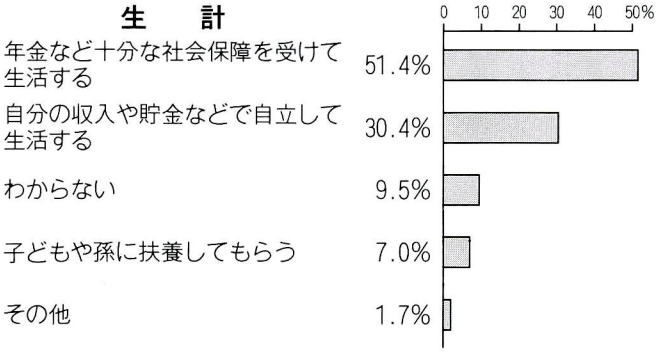
生きがい



※年齢別にみると，20歳代の若年層では「趣味など自分の好きなことをする」が63.5％と格段に多いのが特徴的で，「働ける間は仕事を持ち続ける」は27.9％にとどまっている。30歳代以上では「働ける間は仕事を持ち続ける」がおおむね40％以上を示しており，老後の生きがいに対する若者と中高年齢者層の意識の違いを表している。

職業別では，「働ける間は仕事を持ち続ける」の比率が特に高いのは自営業者（58.2％）と農林業者（53.9％）で，一方「趣味など自分の好きなことをする」の比率が高いのは，専門職（62.9％）と主婦（60.6％）である。

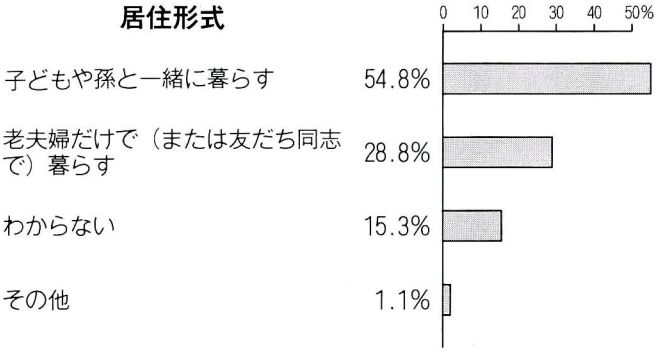
生　計



※年齢別にみると，60歳代以上で既に高齢に達している回答者の中では，「子どもや孫に扶養してもらう」の比率が高くなっているのが目立つ。

職業別では，「自立して生活する」は自営業者や専門職で多く，「子どもや孫に扶養してもらう」は農林業や自営業者で比率が比較的高くなっている。

居住形式



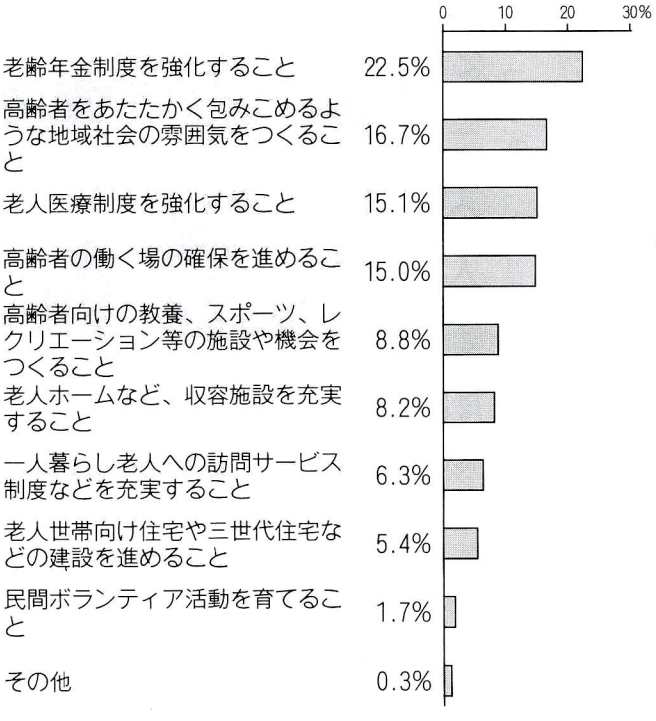
※年齢別にみると，年齢が高くなるほど「子どもや孫と一緒に暮らす」の割合が高くなることがわかる。若年層では，まだ「わからない」の割合が高く，20歳代では28.1％が「わからない」と答えている。

職業別では，農林業者で「子どもや孫と一緒に暮らす」の割合が非常に高く73.3％に達している。

家族人員別にみると，家族人員が多いほど「子どもや孫と一緒に暮らす」の割合が高い傾向がみられる。

高齢化社会への対応策

（問）今後，高齢化社会への対応策として，何が一番重要だと思いますか。



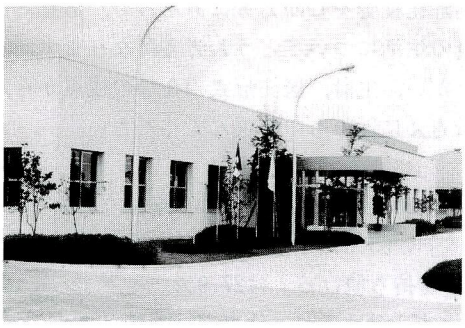
※年齢別にみると「老人医療制度の強化」が年齢が高いほど高い支持を集めているのに対して、「高齢者向けの教養、スポーツ、レクリエーションの施設や機会づくり」「高齢者の雇用の場の確保」では、若年層の方が比較的支持が高いのが特徴的です。

家族構成の違いによる傾向の相違をみると、家族に老人がいる、いないの相違によっては、大きな傾向の差異は認められない。

工業団地を訪ねて

～企業紹介～ ③

助川電気工業株式会社



助川電気工業株式会社

住　所　高萩市上手綱字朝山3333
（手綱工業団地）
資本金　２億６千４百万円
主な製品名　原子力関連機器
工業用電気機器
敷地面積　72,654㎡
建物面積　7,543㎡
社員数　１２１名
操業開始　昭和51年７月

助川電気工業株式会社は、エネルギー産業を中心として、エネルギー需要にあわせて成長してきた会社です。

本社は、日立市の滑川町にあり、東京支店や営業所二、工場三、系列会社一などがあります。

主な製品としては、電磁流量計、電磁ポンプ、液面計などの原子力関連機器や工業用電気ヒーター・温度センサーなどの工業用電気機器などがあります。

高萩市への進出の理由は、滑川工場が手狭になったことや住宅地域の指定を受けたこと、時代とともに製品が大型化し、交通事情のため搬出が困難になったことなどがあげられます。現在、大型製品は全て高萩工場で主力生産、その他の電気機器が、滑川工場、宮田工場で生産されています。

高萩工場の社員数は一二一名（全社員総数三一四名）で、そのうち地元雇用者は約四分の一です。

野崎社長のモットーは、チャレンジ精神の発揮、「今までにないものに挑戦する姿勢は、ハイテク時代になればなるほど必要です。失敗をこわがらずに高技術にいどんでもらいたいといつも社員には話しています。

特に、新エネルギー時代を迎えた今日、バイオテクノロジー、ニューメディアなどの技術革新に伴い、当社でもハイテク産業の分野に取り組んでいます。」（今秋発表の予定）

「また、地域の人たちとの融和を図りながら、地元に理解され、受け入れられる企業になっていきたい。」と話してくれました。

社長
野崎正憲さん

現在，日立市に在住，奥さんと二人の子どもさんの四人暮らし。

趣味は，健康づくりのためのゴルフと囲碁（二段）だそうです。

「工業団地の中の人的交流は，結構行われていますが，もっと市内でもそういう交流がこれからは必要になってくると思います。」

全国から三二〇人が参加

フライングディスク選手権大会

大心苑

十月十日から十月十三日まで、高萩大心苑を会場に、第十回ジャパン・オープン・フライングディスク選手権大会が開かれました。

これは、国内では「フリスビー」の名前で知られている、プラスチック製の円盤を投げて競い合う競技です。

今回の大会には、全国から選手約三百二十人が大心苑に集まり、九種目にわたって、激しい競り合いを演じました。

縄文土器づくり

歴史民俗資料館の体験学習「縄文土器づくり」が，10月13日(日)，中央公民館で行われました。

参加者は18名，こねた粘土を細いひも状にして，底から形を作り，縄目や竹で文様を施して本物そっくりにできあがりました。このあと陰干しをして11月に入って野焼きをします。

あなたの胸にハイ！赤い羽根

10月１日(火)から，赤い羽根の共同募金運動が始まりました。この日は市や社会福祉協議会関係者約15人が早朝から駅前に集まり，朝の通勤，通学の市民に赤い羽根募金の協力を呼びかけました。

この運動は12月31日まで続けられます。

自然がいっぱいの高萩へどうぞ
千葉県柏市でキャンペーン

十月四日(金)、高萩市観光協会では、観光客誘致巡回宣伝（観光キャンペーン）を千葉県柏市で行いました。

〝ほんものの自然がいっぱい〟、〝渓谷と黒潮のまち高萩〟と書いたマイクロバスで、山と海の自然環境が豊かなまち「高萩」へぜひ一度おこしください、とPRを。

柏市から高萩までは、常磐自動車道を利用すれば一時間半足らず。家族連れのレクリエーションには、最適の距離にあります。ビニールに詰めたパンフレット千部を柏駅構内と豊四季団地（人口約六千人）で配布、観光客の誘致に努めました。

〝炎〟のユニホームで初優勝
……ファイヤーズ

十月十三日(日)　市営野球場で、第十三回高萩市長杯争奪軟式野球大会の決勝戦が行われ、ファイヤーズが四対三でカラスを下し、初優勝を飾りました。

優　勝　ファイヤーズ
準優勝　カラス（KARASU）
第三位　ポ　パ　イ
　　市役所パワーズ
最優秀選手　立花　久男さん
打撃賞　椎名　重文さん
敢闘賞　田森　雅透さん

◀ 高浜少年すもう大会

10月６日(日),日本加工製紙体育館で,（雨天のため）第５回高浜少年すもう大会が開かれ，市内や県北から16チーム約１１０人の豆力士が集まりました。

成績は次のとおりです。

- 団体優勝　高浜Ａチーム（初優勝）
- 個人優勝　（敬称略）

１・２年　脇坂　修（日立市）
３年　黒沢大士（日立市）
４年　小野瀬　（中郷第１Ａ）
５年　棚橋基紀（駒木原）
６年　島崎智也（高浜）

高萩の昔話と民俗

豆と胡麻（ごま）で目を突く神様
（6）

志田諄一

折口信夫は、宮廷で小豆で手を洗い水の代わりに古くから用いたことに注目し、豆で身をなでて旧冬のけがれを持って行かせようとしたことが、鬼打ち豆という考えに移動した、と述べている（「春立つ鬼」）。これに対して林羅山は、除夜に豆をまくのは諸方の鬼の眼晴（ひとみ）を打ちつぶすためだ、としている（「庖丁書録」）。

なぜ鬼をはらうのに豆が用いられ、その豆で鬼の眼晴を打ちつぶさなければならないのだろうか。

冬至の日や追儺で追われる疫鬼は冬至や年の暮れに、赤豆のような症状が体や顔にでる赤班瘡（せきはんそう）にかかって死んだ子どもがなると考えられていたのである。赤班瘡は麻疹のことで、俗にハシカとよばれる。古代中国では麻疹は、痘瘡（天然痘）と同じく疫鬼によって発生すると思われていた。麻疹はかっては小児の疾病と考えられていたように、多くの子どもの命を奪った。昔は現在とちがって栄養状態がわるく、とくに動物性蛋白、脂肪が不足していたので、肺炎を併発して死ぬ者が多かった。

▲「政事要略」にみえる疫鬼

クロッケー・ゲートボール
県北地区大会開かれる

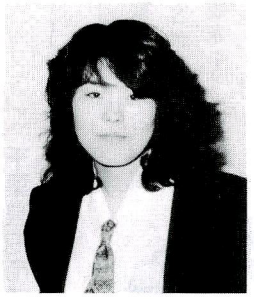
十月十八日(金)　高浜運動広場で、「第三回茨城県高齢者クロッケー・ゲートボール県北地区大会」が開かれ、九市町村から約三百名が参加（クロッケー十二チーム、ゲートボール八チーム）して、十一月に行われる県大会の出場権を競いました。

この結果、ゲートボールの部で島名老人クラブがみごと二位に入賞して、県大会への出場を果たしました。

市民のひろば

“市民のひろば”のコーナーは，みなさんの身近に起こった話題や行事，声を紹介します。何かありましたら係までお寄せください。
♧あて先　市民活動課広報広聴係
（☎23－2111　内線 262）

私のチャームポイント……⑩



神長孝子さん
（島　名）

最近二十歳になったばかりという孝子さん。

いつも一緒にいる友だちと遊んでいるときが一番楽しいと、青春をおう歌しています。

「結婚なんて、まだ全然考えたことありません。もったいなくて……。それに私、家事がにがてなんです。」

両親とお兄さんとの四人家族、お兄さんは、仕事の関係で三年ほど前から寮に入っているので、実際家にいるのは孝子さんとご両親、孝子さんもすっかり甘えているようです。

「父や母とは、よく話をします。今度、この欄に出ようと思ったのも、実は両親のすすめなんですよ。」

ベストセラーの本には、ほとんど目を通し、特に好きなのは、林真理子、「私、この人には共感しちゃうんです。」

――チャームポイントは？――

「う～ん、性格的にさらっとしているのがいい所かな。あまりくよくよ考えない。ちゃらんぽらんなんですよ、きっと。」なんて、明るく笑ってみせます。

ボーイフレンドは？と聞くと、うふふっと笑ってノーコメント、

血液型はA型、吉川晃司と佐野元春が大好きな、現代っ子です。

クイズ　たかはぎ　あれこれ

県立自然公園に指定されている花貫渓谷一帯は，四季を通じて訪れる人々を楽しませてくれます。土岳山も一年中登山客でにぎわい，山頂からの眺めはすばらしいものがあります。

さて，この土岳山の高さはどれくらいあるでしょうか。

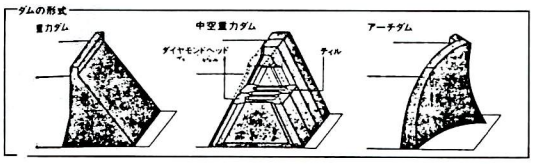
1，約６００ｍ
2，約７００ｍ
3，約８００ｍ

答えのわかったかたは，市民活動課広報広聴係まではがきでお知らせください。正解者（１名）は，市報12月号で紹介し粗品を差し上げます。

また，高萩に関するクイズで，出題や解答が広く市を紹介するような問題がありましたら，あわせてお知らせください。

♧クイズたかはぎあれこれ　前号の答え……2、重力式

コンクリートダムは構造の上から重力ダム、アーチダム、中空重力ダムなどに分けられ、下図のようになっています。以前はコンクリートダムと言えば重力ダムがほとんどでしたが、建築技術が発展し、アーチダムや中空重力ダムが作られるようになりました。



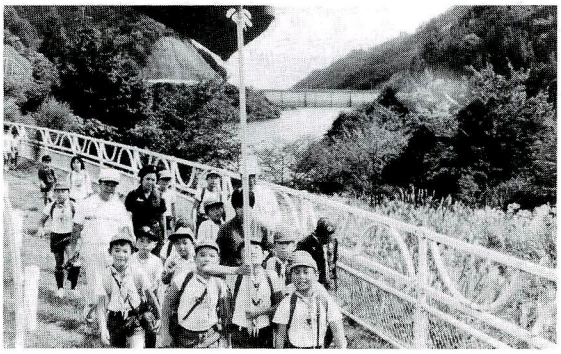
《クイズの解答者》

中村富子さん（秋山）

答えは，柏義夫先生の写真集をみて，わかりました。

これから，市内の名所・旧跡や文化財など，いろいろ勉強したいと思っているんですよ。

五百人が参加……体力づくり市民歩く会……



十月十日体育の日、秋晴れのなかを「第十八回体力づくり市民歩く会」が開かれました。

一歳児から、七十九歳のお年寄りまで、市民約五百人が参加、車イスでの参加者も、高校生会などボランティアグループの協力を得て、市役所から名馬里が淵まで完歩しました。

途中「峠の道」のハイキングコースも組み込まれ、額に汗をうかべながら、ふだん気が付かなかった自然の美しさを満喫していました。

この人 この道……③

花の美しさに魅せられて

菊づくり三十五年

板橋利雄さん（東本町）

毎年十一月ごろになると、市内のあちこちで菊の花づくりをしている家が見られます。

今回は、菊の花の大きさと美しさに魅せられて、三十五年間、菊の花づくりに取り組んでいる板橋利雄さん（高萩市菊花会会長）を訪ねてみました。

板橋さんが菊づくりを始めたのは、昭和二十五年の戦後復興の折、当時三十二歳のときでした。造園業を営むかたわら菊づくりに励み、市の菊花展には、第二回め（昭和二十六年）から連続して出品、最優秀賞も今までに十回以上は獲得したという実績の持ち主です。

毎年、三百鉢ほどさし芽をしてそのうちよくできるのは、七十鉢から八十鉢だそうです。

害虫やシロサビ病には特に悩まされ、ちょっと消毒を怠ると全滅してしまうので、一週間に一度は必ず消毒を。

「小さいうちは、子どもをかわいがるように、筆で一枚一枚葉を消毒するんですよ。農作物と同じで、気候にも左右されるので毎年いい花が咲くとは限らない。今年は日照りで水かけもたいへんでしたね……。」と苦労を語ります。

審査で、自分の作った花が入賞したとき、また、菊の好きな人に苗を分けてあげたり、できた花を人にあげて喜ばれたりすると、苦労して育てたかいがあったと、しみじみとうれしくなるといいます。

今年も、第三十四回高萩市菊花展が十一月一日から十三日まで、春日町児童公園で開かれます。毎年市の菊花展に出品するほか、笠間の展示会、さらに今年は、十一月十日から水戸で開かれる全国大会にも参加するなど、各方面からその技術が高く評価されています。

高萩市菊花会の会員は、現在六十人ほどで、八年ほど前から板橋さんが会長を務めています。

昔は、駅前にもたくさんの菊が並べられ、高萩のまちの玄関を飾ったそうです。

「高萩の菊も、だんだん名を広めつつあります。これからたくさんの人が高萩の菊を見に来てくれるといいですね。そして、若い人にも花づくりの楽しみを味わって、心をなごませてほしいと思います。」と話す顔に、長年菊の花を育ててきた温かさが感じられます。

理科教育で優良校に…君田小

君田小学校（茂又成徳校長・児童数四十七人）ではこのほど、ソニー教育振興財団から、理科教育でみごと優良校に選ばれ、ビデオ・カラーテレビ機器一式と研究費五万円が贈られました。

低学年の自由研究（アサガオ・ヒマワリの継続観察）を通して、生徒たちが観る力、記録する力を養うなどの児童との出会い、活動の展開、影響、発展などをアルバムや論文などにまとめたものが、全国大会で認められたものです。

今年の九月に社団法人化された高萩青年会議所の目的は、「明るい豊かな地域社会づくり」にあり、そのために、まちづくり、人づくりのための活動を行っています。

現在、会員は五十八名（会員資格は、二十歳から四十歳の市内在住、または勤務者）で、活動の礎を作ってくれたOBが約五十名、国際青年年の今年、受賞となったものです。

十七代理事長の安東義博さんは、「今回の受賞を契機に、今まで続けてきた〝教育に関する運動〟の輪を地域の中に広げていきたい。」と抱負を語ってくれました。

日ごろの活動が認められ、児童をはじめ、父兄や先生がたもとても喜んでいます。

最優秀賞を受賞…高萩青年会議所

十月五日(土)　広島市で、日本青年会議所の第三十四回全国大会が開かれ、高萩青年会議所が「会頭重点テーマ推進賞」――教育に関する運動――の部門で、最優秀賞を受賞しました。

この受賞は、「特殊教育を考える」――少数学級児童との十六年間のふれあいを通して――というテーマで高萩青年会議所が十六年間

こんにちは！保健婦です

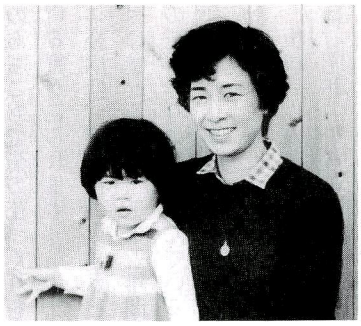
体力づくりはふだんの食生活が基本

㊙知的食生活で健康を

成人病を予防するには、何を食べ何を避ければよいのかを考える時代になってきました。

高萩市には、地域住民の健康づくりを推進するために「食生活改善推進員」が約六十人おり、各地区の公民館、集会所で保健婦といっしょに料理講習会を開いています。このような講習会等を利用して、休息、運動をも配慮した知的食生活を実践しましょう。

今年発表された厚生省の「健康づくりのための食生活指針」を紹介しますので参考にしてください。



２歳児歯科健診にて

安東江里子ちゃん（２歳）とお母さんの小夜子（さよこ）さん

本町３の53

「やることがおもしろくて，とてもひょうきんなんですよ。」とお母さん。

３人兄弟の一番下で，甘いものが大好きという江里子ちゃん。最近は，おねえちゃんとママごと遊びをするようになりました。

１，多様な食品で栄養バランスを

- １日30食品を目標に
- 主食，主菜，副菜をそろえて

２，日常生活活動に見合ったエネルギーを

- 食べすぎに気をつけて肥満予防
- よくからだを動かし食事内容にゆとりを

３，脂肪は量と質を考えて

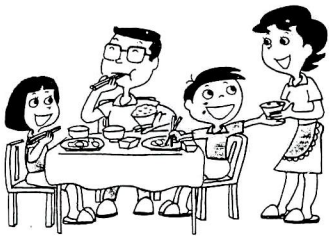
- 脂肪はとりすぎないように
- 動物性の脂肪より植物性の油を多めに

４，食塩をとりすぎないように

- 食塩は１日10ｇ以下を目標に
- 調理の工夫で，むりなく減塩

５，こころのふれあう楽しい食生活

- 食卓を家族ふれあいの場に
- 家庭の味，手づくりのこころを大切に



第八回 高萩市公民館まつり

十月二十六日㈯と二十七日㈰の二日間、中央公民館と市民体育館で「第八回高萩市公民館まつり」が開かれました。

この公民館まつりは、毎年公民館で学習している講座生や学級生、クラブ生のみなさんが丹精込めて作った作品を持ち寄って、市民のみなさんとの交流を図ることを目的に行われているものです。

展示の部、発表の部、バザーの部、日用品即売会、食堂などにたくさんの市民が訪れ、大好評でした。

▲すばらしい作品がずらりと展示

こわいのは「消したつもり」と「消えたはず」

—— 秋の火災予防運動 ——

11月26日から12月２日

今年も恒例の秋の火災予防運動が，11月26日から12月２日まで一週間にわたり実施されます。

これからは火災の発生しやすい気候になります。市民一人ひとりが，ともすれば忘れがちな火災に対する警戒心をさらに認識し，火災の予防に充分心がけるようにしましょう。

上手綱地内の山林火災を早期発見、初期消火した新日本鍛工株式会社が、九月二十日㈮に消防署から表彰されました。

相談コーナー

税の無料相談

とき　十一月十一日(月)　午前九時から午後四時

ところ　関東信越税理士会日立支部会員各税理士事務所

問合せ先　関東信越税理士会日立支部事務所　☎〇二九四―三五―八二二五

巡回法律相談

専門の弁護士が無料で法律の相談に応じます。

とき　十一月二十二日(金)　午前十時から午後三時

ところ　高萩市民センター

無料人権相談

とき　十二月六日(金)　午前十時から午後三時

ところ　高萩市民センター

相談内容　金銭貸付、借地、借家、離婚等

相談員　高萩市人権擁護委員、法務局職員

高萩市体育協会発足三十周年記念事業

●記念式典

とき　十二月一日(日)　午前十時～十二時

ところ　中央公民館

●記念誌発刊　詳しくは市民体育館☎二三―二五五二へ

市民駅伝競走大会の期日が変更になります

健康づくり社会体育ニュースで（後期）おしらせしました、第三十四回市民駅伝競走大会の期日を、次のとおり変更します。

実施日　十二月八日(日)

国際電話をかけてみませんか！

無料で公開通話

ＫＤＤ茨城衛星通信所では，高萩市産業祭で国際電話の公開通話（無料）を行います。ご希望のかたは下記によりお申込みください。

とき　11月23日(土・祝日)，24日(日)
午前の部　11：00～12：00
午後の部　15：20～16：00

ところ　高萩市民体育館内ＫＤＤコーナー

応募方法　「官製はがき」に住所，氏名，年齢，職業，電話番号，通話相手の氏名，国名，都市名，電話番号を記入のうえ，11月15日までにお申込みください。

申込み先　〒318高萩市石滝字呉坪650
ＫＤＤ茨城衛星通信所 広報課

※　応募者多数の場合は，抽選で決定し，当選者には「はがき」で連絡します。

はかりの定期検査を実施します

はかりの定期検査を11月28日から12月５日まで下記会場で実施しますので，「取引」・「証明」に使用されるかたは必ず検査を受けてください。

検査日程

検査日	時間	検査会場
60.11.28(木)	午前10時～午後３時	旧高萩市商工会
11.29(金)	午前10時～午前11時30分	秋山小学校
	午後１時～午後２時	上手綱生活改善センター
	午後２時10分～午後３時	下手綱公民館
12.2(月)	午前10時～午前10時20分	鳥曽根三代商店前
	午前10時40分～午前11時	下大能川松商店前
	午前11時10分～午前11時20分	上大能国井商店前
	午後12時30分～午後12時50分	上君田生活改善センター
	午後１時20分～午後２時	下君田松本商店前
	午後２時30分～午後３時	横川豊田商店前
12.3(火)	午前10時～午後３時	高萩車検場
12.4(水)	午前10時～午後３時	恒和化学工業㈱高萩工場内
12.5(木)	午前10時～午後３時	旧高萩市商工会

※12.4(水)は，団地内企業だけです。

昨年の定期検査後にはかりを購入されたかたは，市役所商工課（☎23-2111内線462）まで連絡してください。

なお，本年度から，定期検査時に従来出張検査した電気式はかりも，一般のはかり同様すべて検査場持込みとなりますので，ご了承ください。

10月17日から 茨城県最低賃金が改正されました

１　日　3,391円
１時間　424円

茨城労働基準局では，茨城県下の全産業，全労働者に適用される茨城県最低賃金を1日3,391円（現行3,273円，引上額118円），時間給424円（現行410円，引上額14円）に改正し，昭和60年10月17日から実施することになりました。

最低賃金についての詳しいことは，茨城労働基準局賃金課（☎0292―24―6215），または，最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

日曜当番医

11月24日	白土医院	東本町	22－2697
12月1日	諸原医院	高戸	23－3113
12月8日	立花医院	東本町	22－3512
	十王医院	十王町	32－3266
12月15日	宍戸医院	安良川	23－2318
12月22日	内田病院	大和町	22－2137

時間は、いずれも午前9時から午後4時までです。

善意ありがとう

○臼井　久さん　社会福祉へ
三万円　東本町

○島名仲よし子供会　社会福祉へ
一万一千五百円　島名

○高萩ライオンズクラブ
二十万円（チャリティーゴルフ益金）　社会福祉へ

○安村　実さん　香典返しの一部
五十万円

◆寄贈　図書館へ
新本寄贈
○鎌田　充さん　有明町
古書寄贈
○鈴木　良一さん　下手綱
○石河　栄子さん　石滝
○松沢　義夫さん　島名
○下山田道夫さん　島名

◆寄贈　福祉事務所へ
○高萩ライオンズクラブ
携帯用車イス　一台

文化祭　絵と文　伊藤龍馬

菊花薫る文化の日は，例年秋日和に恵まれる。吾が高萩市でも，文化会館や中央公民館を会場として，十数の文化団体連合による展覧会をはじめ，多彩な催し物が企画されて，市民の参加で大へん賑わいを見せる。

第六回産業祭と第十四回みんなの消費生活展

市内の産業紹介と物産の展示即売会、消費生活のパネル展示などが行われます。みなさんでおでかけください。

とき　十一月二十三日(土・祝日)
　　二十四日(日)
ところ　市民体育館・中央公民館

第三回市民カラオケ大会

とき《予選》十一月十七日(日)
　　午前十時
　　《決勝》十一月二十四日(日)
　　午後一時
ところ　高萩市文化会館ホール
※　入場は無料です。両日とも、入場者の中から抽選でプレゼントが用意されます。お誘い合わせてご来場ください。

～人口と世帯～

		前月比
人口	33,801	(＋44)
男	16,555	(＋23)
女	17,246	(＋21)
世帯	10,161	(＋23)

(昭和60年10月1日現在)

〈注〉これは，国勢調査人口ではなく，常住人口調査によるものです。

11月の納税

国民健康保険税（3期）

納期限　11月30日

懐かしの名画特別鑑賞会

題名　ウエストサイド物語
とき　十二月六日(金)午後六時
※入場無料、十一月二十三日(土)午前九時から文化会館で入場整理券を発行します。（先着八〇〇名）

松竹歌劇団「SKDレビュー」

とき　一月十九日(日)
　　午後一時（高萩スタンプ会のご招待）
　　午後五時半　一般
入場料　A席三、〇〇〇円
　　B席二、八〇〇円
出演　千羽ちどりほか
入場券発売日　十二月四日(水)～

プレイガイド……●
田所書店、仲屋書店、深谷書店、コミュニティストア上島名ねもと・高浜やおけん、野木商店、日立市民会館、ピアノマート（磯原）、文化会館☎二三－七四一一